

第六十四回
帝國議會
貴族院

大正二年法律第九號中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和八年三月十六日(木曜日)午後一時五十分開會

○委員長(富谷銚太郎君) ソレデハ前回ニ引續イテ擔保附社債信託法ノ議ヲ進メマス、ドウゾ御意見ガゴザイマシタラ御述べ願ヒマス

○岩田宙造君 私カラ修正ノ意見ヲ提出イタシマス、原案ノ六十七條ノ二ヲ改メマシテ、「社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ或ル回ノミノ社債權者ニ利害ノ關係アリテ其ノ他ノ回ノ社債權者ニ損害ヲ及ホササル事項ハ其ノ回ノ社債權者ノ集會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム」、ソレガ第一項デアリマシテ、第二項トシテハ、「前項ノ社債權者ノ集會ニハ、社債權者集會ニ關スル規定ヲ準用ス」、サウ致シタイノデアリマス、而シテ第六十七條ノ三ト致シマシテ原案ノ二ヲ置クコトニナルノデアリマスガ、少シソレガ變ルノデアリマス、第六十七條ノ三、「社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ社債權者集會ノ決議カ或ル回ノミノ社債權者ニ損害ヲ及ホスヘキコトハ其ノ回ノ社債權者ノ集會ノ決議アルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス」、斯ウ致シタイ

ノデアリマス、此趣旨ハ簡單ニ申上ゲマスト、社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行イタシマス場合ニ於テ、其第一回ニ發行サレマシタ社債權者ノミノ利害關係ガアテ、他ノ二回以後ノ社債權者ニハ利害關係ガナイト云フヤウナ場合ニハ、サウ云フ事項ニ付キマシテハ、其利害關係ヲ有テ居ル第一回ノ社債權者ノ集會ノ決議ガケデ宜シイ、サウ云フコトニ先ヅ原則ヲ定メルノデアリマシテ、ソレガ第六十七條ノ二ノ意味デアリマス、サウシテ六十七條ノ三ノ方ノ意味ハ此

原案ノ意味ト略、同様デアリマシテ、或ル回ノミノ社債權者ニ損害ヲ及ボス事柄デアアルガ、他ノ回ノ社債權者ニモ利害關係ヲ生ズル、或ル影響ヲ及ボス事項ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、全體ノ總社債權者ノ集會デ其決議ヲスルシ、其上ニ特ニ此損害ヲ蒙ル回ノ社債權者ノ集會ノ決議モ其上ニ要ル、斯ウ云フコトニシタイ、斯ウ云フ趣意デアリマス、之ニ依リマシテ、私共ガ是マデ心配シテ質問シテ居リマシタ或ル回ノ社債權者ノミノ利害問題ニ付テハ、他ノ回ノ社債權者ノ干渉ナシニ、其利害關係ヲ有テ居ル回ノ社債權者集會ガケデ決議ガ出來

ルト云フ目的ハ達セラレルカト思フノデアリマス、匆卒ノ際デアリマシテ文字等ハ多少不完全ナ所ガアルカモ知レマセヌガ、マア此程度デ主タル目的ハ達セラレルヤウニ考ヘマスノデ、斯ウ云フ修正案ヲ提出イタシタイノデアリマス、御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(富谷銚太郎君) 政府ハ如何デスカ

○政府委員(長島毅君) 政府ハ御提出ノ修正案ニ賛成シマス

○委員長(富谷銚太郎君) 他ニ御意見ハアリマセヌカ

○岸清一君 只今ノ岩田委員ノ修正案ニ賛成デアリマス、尙ホ此際特ニ申上ゲテ置キタイノハ、此修正ノ裏面ニ於テ、擔保權ノ實行ノヤウナ場合ニハ、假ニ或ル回ノ社債權者ガ自分ノ方デハ同意シナイト云フ風ナコトヲ申シマシテモ、既ニ債務ノ辨濟ガ決定セラレ、擔保權ノ實行ノ決議ガ、他ノ或ル一ツノ回ノ債權者集會デ決議ニナッタ以上ハ、是ハモウ外ノ回ノ債權者ノ集會ノ意見如何ニ拘ラズ、實行ガ出來ルト云フ意味ガ含マテ居ルモノト私ハ解スルノデアリ

マス、斯ウ云フ意味ニ於テ此原案ヲ贊成スル次第デアリマス

○山隈康君 サウ致シマスルト、前回ニ御提出ニナリマシタ此修正ノ御意見ハドウナリマスカ

○岸清一君 私ガ前回ニ出シマシタ修正ノ意見ハ撤回イタシマス

○山隈康君 全部デスカ

○岸清一君 全部撤回イタシマス

○委員長(富谷銚太郎君) 他ニ御發言ハゴザイマセヌカ

○岸清一君 全部ト申上ゲタノハ此六十七條ニ關スル分ダケデス

○山隈康君 サウ致シマスルト、其外ノ修正意見ニハ政府ノ方モ、是ハモウ殆ド文字ダケノヤウデアリマスカラ御異議ハナイ譯デスネ

○政府委員(長島毅君) 此十九條ノ四ノ問題デアリマスガ、是ハ或ハ御説ノ如クニスルノガ至當カト存ジマシタケレドモ、是モ考ヘマス、修正ノ徑路ガ分リマス爲ニ、此十九條ノ四ノ二項ノ方ニ其修正シタモノヲ掲ゲタノデアリマス、是ハ法制局ノ方デモ色々研究イタシマシテ、矢張り修正ノ徑

路ガ分ル方宜カラウト云フノデ、十九條

ノ四ノ二項ニ「七十七條第二項ノ規定ハ前
項ノ契約證書ニ之ヲ準用ス」ト云フ規定ヲ
持ッテ參々譯デアアル、ソレカラ後ノ方ハ成
程文字ハ合ヒマセヌガ、大體斯ウ云フ方針
デヤリマシタノデス、例ヘバ二十二條ニ付
テ申シマスレバ、前ノ此「信託契約ニ依リ
物上擔保附社債ヲ募集スル會社ハ」トアル
ノヲ略シマス意味ニ於テ「社債カ其ノ總額
ヲ數回ニ分チ發行スルモノナル場合ニ於テ
ハ」ト、詰リ社債ト云フモノヲ、數回ニ分ッ
テ發行スル社債ト云フ部分ニ讀ミ變ヘルヤ
ウナ意味デ「分チ發行スルモノナル場合ニ
於テハ」ト、斯ウ致シタノデ、實ハ此前ニ
書イテアル場合ト、ソレハ氣ガ付イテ斯ウ
云フ字ヲ使ヒ分ケタノデアリマスカラ、マ
ア文字ノコトデ何デアリマスケレドモ、ド
ウモ餘リ色々此修正條項ガ澤山ニナリマス
ト、又衆議院ノ方デモ煩ハシイノデアリマ
スカラ、趣旨ニ於テ變リガナケレバ、成ル
ベク原案ニサシテ戴キタイト思ヒマスガ、
如何デゴザイマセウカ

○岸清一君 法制局デドウ云フコトヲ考ヘ
ラレタカ分リマセヌケレドモ、法文ヲ直ス
時ニ、修正ヲシタ徑路ナント云フモノハ後
ニ何モ殘シテ置ク必要ハナイト考ヘマス、

七十七條ノ二項ト云フ遠方ノ項ヲ引イテ、
ソレモ能ク讀ンデ見ルト、ソレハ十九條ニ
是ミト云フコトニナリマス、如何ニモ體
裁ガ惡イト思ヒマス、デサウ云フ風ナ不完
全ナ案ヲ御出シニナッテ置イテ、ソレヲ會期
ガ切迫シテ居ルカラト云フノデ、無理矢理
ニ通シテ賞ヒタイト仰シヤルガ、ドウモソ
レハ政府ノ惡イ御辯ト思フノデアリマス、
ソレカラ「社債カ其ノ」ト云フコトハ、全部
同ジヤウニ此法文ノ用語ヲ統一シテ居ラッ
シヤルナラバ宜シイノデスケレドモ、此十
九條ノ處ニハ皆「社債ノ總額」云ミト云フコ
トデ「二十二條ノ所ニ行ッテ急ニ「社債カ」其
ノト書イテアル、ソレ以下ノ處ニハ「社債
カ其ノ」ニナッテ居ル、如何ニモ法文ノ統一
ヲ缺クヤリ方デアリマシテ、誠ニ見ットモナ
イト考ヘルノデアリマス、併シ政府ガ非常
ニ本案ノ通過ヲ御急ギニナッテ居ルト云フ
コトハ了解シテ居リマスカラ、強ヒテ私ノ
説ヲ固執スル譯デハアリマセヌケレドモ、
政府ノ方デモ虚心擔懷ニ是ガ宜シイト御考
ヘニナッテナラバ、御同意ニナッタ方ガ、却ッ
テ事ノ進行ヲ助ケルコトニナルヂヤナイカ
ト考ヘマス、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(長島毅君) 甚ダ失禮デゴザイ
マスガ、十九條ノ二ノ如キハ信託證書ニハ

繰返シタモノデゴザイマスカラ、ソレデ數
回ニ發行スル場合ニ於テハヤッテ宜イノデ
スカ、二十二條ノ如キハ、之ヲ繰返スガ、
如何ニモ信託契約ニ依リ物上擔保ト社債
ヲ募集スル會社ト云フコトヲ繰返スコト
ガ、如何ニモ煩雜ナモノデスカラ、ソレ
デ社債ノ方デ抑ヘテ、分割發行ノ社債ノ
時ニスルト云フ風ニ、ソレデヤッタ積リデ
ゴザイマス、モウ一遍繰返スコトヲ避ケル
積リデヤッタノデ、意味ガナシニヤッタンデ
ヤナイノデス

○岸清一君 ドウモ今ノ御答辯デハ中ミ要
領ヲ得ヌト思ヒマス、既ニ此法律ソノモノ
ガ擔保附ノ社債信託ノ法デアル以上ハ、一
一信託證書ト云フコトヲ御書キニナラナイ
デモ、社債ノ總額ト御書キニナレバ、是ハ
擔保附社債ト云フコトハ、誰デモ讀ンデ分
ルコトデアアル、ソシテコトヲ、此様ナ「社債
カ其ノ」ト云フヤウニ御書キニナッテ分ルト
思フノハドウモ變ダト思フ、ダカラソレヲ
私ノ申ス通りニ「社債カ其ノ」ト云フ二字ヲ
御取リニナリマシテ、「社債ノ總額」ト御書キ
ニナッテ置イテ、是ハ信託附ノ社債ト云フ
コトハ、此法律ヲ讀ムモノナラバ、誰モ迷
フ者ハナイト思ヒマスカラ、此前ノ「七十七
條」云々ト云フコトハ、ドウデモ宜シウゴ

ザイマスケレドモ、此方ダケハ矢張り「社債
ノ總額」ト云フコトニ御直シニナッタ方ガ宜
イカト存ジマス

○政府委員(長島毅君) チョット御懇談
ヲ……

(速記中止)

○岸清一君 ソレナラバ十九條ノ四ノ二項
ノ方ノ修正意見ハ撤回イタシマス、併シ二
十二條ノ「カ其ノ」ノ云フコトヲ御直シヲ願
ヒタイト思ヒマス

○委員長(富谷銆太郎君) モウ他ニ御意見
ガゴザイマセヌカラ、是デ此案ハ辭句ノ整理
ハ後ニスルト云フコトニシテ全會一致通過
スルト云フコトニ決定イタシマス……次ニ
只今問題ニナッテ居ル裁判所管轄ニ關スル
方ハ、是ニ付テ別ニ御意見ハゴザイマセヌ
デセウカ

○山隈康君 案自體ハ私ハ異議ハアリマセ
ヌ、贊成ヲ致シマス、但シ一二ノ希望ヲ附
シテ贊成ヲシタイト思ヒマス、第一ハ是以
上ニ管轄區域ヲ變更スル必要ノ場所ガアル
カモ知レナイト思ヒマス、其方ニ對シテハ
速カニ調査ヲサレマシテ御提案ヲ希望スト
云フコトデアリマス、ソレカラ此區域變更
ヲ御決定ニナリマス以前ニ於テ辯護士會、
町村會、其他民間ノ適當ナ機關ニ御諮問ノ

上ニ御決定ヲ願ヒタイ

○岸清一君 本委員モ山隈委員ノ希望ニ滿

腔ノ同意ヲシ、贊成ヲ致シマス、斯ウ云フ

管轄ヲ變更スルト云フ風ナ場合ハ、辯護士

會其他ノ關係者ニ豫メ諮問ヲ爲サレタイト

思ヒマス、少クトモ突如トシテ司法省ガ提

案ヲサレルト云フコトハ、宜シクナイコト

ト思フ、將來斯ウ云フ必要ガアッタ場合ニ

ハ、必ズ豫メ辯護士會其他ノ適當ナ機關ニ諮

問シテ、十分御意見ヲ御聽キニナッテ相當

ト考ヘマス、將來サウ云フ風ニサレムコト

ヲ希望スル次第デアリマス

○委員長(富谷銚太郎君) 政府ハ御意見ハ

ゴザイマセヌカ

○政府委員(長島毅君) 異議ハゴザイマセ

ヌ、尙ホ此分ダケハ地元カラモ請願ガ來テ居

リマスシ、町村長ナドニモ問合シタノデス

ガ、辯護士會ニハ問合セマセヌデシタ

○岸清一君 ソレデハ辯護士會ノ方ニモ將

來ハサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス

○委員長(富谷銚太郎君) ソレデハ此管轄

ニ關スル規定ノ方モ是デ異議ナク、全會一

致デ議決シタト云フコトニ致シマス、宜シ

ウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(富谷銚太郎君) サウスルト本日

ハ是デ散會ヲ致シマス

午後二時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 富谷銚太郎君

副委員長 岸 清一君

委員

公爵山縣 有道君

子爵鍋島 直繩君

山隈 康君

岩田 宙造君

政府委員

大藏書記官 大野 龍太君

司法省民事局長 長島 毅君

昭和八年三月十七日印刷

昭和八年三月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局